

～主体的に判断し、情報社会をよりよく生きる児童の育成～

研究 Report

No. 4 令和2年12月 池袋本町小学校

今回の研究 Report では、第4回目の5年3組の研究授業の様子をお知らせします。今回の校内研究は、図画工作科を通して著作権や個人情報保護について学び、コマドリ・アニメーション（動画制作）の造形活動を行いました。紙芝居のようにストーリーを追うのではなく、動きの変化に目を向けさせることで色や形など造形的な特徴を児童に考えさせました。児童が情報の発信者として相手を意識した表現を心がけ、自分の表現をより深めることを目指しました。

題材名 「コマコマ・アニメーション」

【主な学習活動】

（1）導入

オリジナル・キャラクターのおもしろい動きについて考えさせました。



（2）展開①

タブレットのインターバル機能を活用して、コマドリをしました。20枚以上のコマをつなげて長編動画をつくる児童もいました。



（3）展開②

動きだけで相手にどのように主題を伝えるか（表情、背景）など工夫する児童も見られました。



（4）まとめ

動画の鑑賞会を通して「文字がなくても、動きを工夫すれば相手にメッセージが伝わる」ことや「みんなの心が温くなる表現を心がけることが大切」などふりかえりでは意見が出ました。

